

5期目の挑戦！ ～横尾俊彦市長 新たな決意～

任期満了に伴う多久市長選挙が、9月1日に告示され、2人が立候補。

16年ぶりとなる選挙が9月8日に行われました。

選挙で市民から付託された横尾市長。

5期目となるこれから市政をどのようにしていくか、抱負と決意を申し上げます。



就任のごあいさつ

行政にイノベーション（変革）を創造
多久市長 横尾俊彦

この度の市長選挙で当選し、引き続き市長職を務めることとなりました。改めてその職責の重さを感じるとともに、なお一層、粉骨碎身の努力をせねばとの思いを新たにしています。

奇しくも、投開票日の朝は「2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催」が決定しました。ハンデのある人もない人もベストを尽くして挑戦するスポーツの祭典が7年後に日本で開催されます。その精神にもあるように、ハンデの有無にかかわらず、それぞれに生きがいや安らぎを感じうる、心あたためる地域社会の創造をめざして、誠実に努めたいと思います。

そのため、自己変革、自治体改革に邁進したいと考えています。まさに、行政にイノベーション（変革）を創造したいと感じます。新たな任期の市政を担うに際し、その心得として次の事を思っています。まず、①寄り添う政治を心がけよう。～市民の皆様に寄り添い、あるべき福祉・健康・医療・教育・産業興しなどを熟慮し、対策を打ちます。つぎに、②心を動かす市政をめざそう。～心を動かすとは感謝や感動に値する行政サービスの提供という意味です。お一人おひとりのニーズに真摯に対応します。さらに、③大きな志のもとに励もう。～あらゆる仕事は、たとえ小事であっても深い意味や意義があります。それを慮るとともに、託された使命を全うすることで真に市民に役立つ仕事をする市役所になれると思います。

真摯に真剣に努力を重ねます。ご理解ご支援をお願いします。

